

2001 地震火山・世界こどもサミット～全体の概要～

2001 World Wide Children's Earthquake-Volcano summit in Oshima.Outline of activities.

数越 達也[1], 地震・火山こどもサマースクールインストラクター・作業部会・実行委員会一同 桑原 央治
Tatsuya Sugoshi[1], Working group for Schoolchildren's summer course of seismology and volcanology Kuwabara Eiji

[1] 県立芦屋高

[1] AUSS

<http://www.mmjp.or.jp/zisin-nfml/oshima/>

2001年7月20～22日、伊豆大島を会場とし、一般から募集した児童・生徒を対象として表記のこどもサミット（主催：日本地震学会、協力：日本火山学会、後援：東京都教育委員会）を企画・実施した。ここでは全体の概要について報告する。実験については、同報告～室内実験の概要～、参加者の感想については、同報告～参加者のアンケート調査結果～を参照されたい。

経緯と企画概要

日本地震学会と日本火山学会が共同して行ってきた「地震・火山こどもサマースクール」は、今回は日本地震学会の社団法人化記念事業として「2001 地震火山・世界こどもサミット」として開催された。1999年は静岡県函南町の丹那断層、2000年は北海道の有珠山をフィールドに、主に地元の児童・生徒を対象とした「地震・火山こどもサマースクール」を開いてきた。いずれも過去に大きな自然災害に見舞われた土地であり、被災地で児童・生徒によりよい地震・火山教育を行いたいというのが企画の目的である。

これら一連の企画の教育方針や実施上の工夫は、次の通りである。

1. 第一線の専門家が、こどもの視点にまで下りて、地震・火山現象のしくみ・本質を直接語る。
2. 災害だけでなく、災害と不可分の関係にある自然の恵みを伝える。
3. 初めから解答を与えてしまうのではなく、まず課題を与えて考えさせ、与えた材料を有機的に結びつけることによってこどもが自分なりの答がみつけれられるようにリード・サポートする。

日程は7月20日から22日までの2泊3日とし、第1日目は伊豆大島内の巡検、第2日目は実験と講義と巡検の組み合わせ、第3日目は三原山および1986年C火口群の見学を行った。

こどもサミット

小学校5年生から高校3年生までの児童・生徒が日本各地と海外（台湾とトルコ）の被災地から計165名参加した。東京および熱海を集合・解散場所とし参加費用は無料とした。企画・運営には全国よりボランティアで研究者・教師などが60名参加した。

7月20日東京竹芝桟橋および熱海港に集合し、船で伊豆大島へ移動する。到着後は大島町総合開発センターで開会式とオリエンテーションを行い、3日間を通じて取り組む課題を与えた。その後、地層大切断面、波浮港、筆島を観察した。宿泊場所の東京都セミナーハウスでは観察した場所のまとめと地震・活断層に関する講義を行った。

7月21日午前中は4つのグループに別れて、周到に準備された実験・野外観察・火山に関する講義の中から複数のメニューを受講した。午後は火山博物館を見学した後に、パネルディスカッションやインターネットを使ったアメリカ合衆国の学校と交流を行い、また課題の答を発表した。

7月22日カルデラ外輪山にバスで移動し、1986年噴火の跡などを観察した。その後大島町総合開発センターでこどもサミット宣言を発表した後、閉会式を行った。閉会式では参加者全員に「地震・火山観察博士」の認定証を授与した。

野外での地形・地質観察や室内実験をゲーム形式での説明をしながら児童・生徒に体験させることによって、火山・地震災害や津波・断層などについての基礎知識を学び、大地の営みについての理解を深めさせた。観察地点では、案内者の一方的な解説とならぬよう、参加者を年令を分散させたチームに分けて共通の課題をあたえ、よい質問やよい回答をしたチームにはカードをあたえ、集めたカードの枚数を競わせるゲーム方式をとった。

今回の企画で得たこと学んだことを参加者がサミット宣言としてまとめ発表した。

2001 地震火山・世界こどもサミット宣言

- 1 歩いていこう 地球と共に、知識ひとつで変わる世界
- 2 噴火のあと 大島で知った自然の恵み
- 3 災害を越えて 人の輪を広げよう

謝辞：当事業は競輪・オートレースの売上金による（財）車両競技公益資金記念財団の助成金により実施された。

1. 参照サイト：2001 地震火山・世界子どもサミット <http://www.mmjp.or.jp/zisin-nfml/oshima/>
2. 参照サイト：2001 地震火山・世界子どもサミット WEB 中継 <http://www.mandala.ne.jp/ooshima/>
3. 参照サイト：2001 地震火山・世界子どもサミット教材 <http://sk01.ed.shizuoka.ac.jp/koyama/oshima/OSkodomo.html>

数越達也：インストラクター代表

2001 地震火山・世界子どもサミット実行委員会事務局長：桑原央治、実行委員長：入倉孝次郎